

「自然」と「遊び」、「笑顔」と「歓声」にあふれる日々を子どもたちに

	3号認定(0・1・2歳児)	2号認定(3・4・5歳児)	1号認定(3・4・5歳児)
7:30	随時登園	随時登園	
8:30	保育室へ	保育室へ	随時登園、保育室へ
	室内外で遊ぶ	室内外で遊ぶ	室内外で遊ぶ
10:00	おやつ時間 クラス保育(戸外・室内)	設定保育(クラス・異年齢)	設定保育(クラス・異年齢)
11:15	食事の時間(準備含む) ※年齢に合わせて随時	食事の時間(準備含む)	食事の時間(準備含む)
11:30		絵本タイム	室内外で遊ぶ
12:45	お昼寝の時間 (個別に入眠)	お昼寝の時間	
14:00			随時降園
14:45	起床	起床	(一時預かりに移行)
15:00	おやつ時間	おやつ時間	おやつ時間
15:30	室内で遊ぶ	室内で遊ぶ	
16:30	随時降園	随時降園	
18:30	延長保育	延長保育	一時預かり終了
19:00	全員降園	全員降園	

- 4月 入園式 入園進級おめでとう会
保育参観並びにクラス懇談会
- 5月 こどもの日の集い 春の遠足
- 6月 定期健康診断 歯科検診
むし歯予防教室 交通安全教室
- 7月 プール開き七夕まつり会
- 8月 夏まつりお楽しみ会
防犯教室
- 9月 こども敬老会
- 10月 運動会
秋の遠足 いもほり
- 11月 保育参観並びに試食会
みかんがり 防災教室
- 12月 作品展 もちつき
クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会
人形劇観劇
- 2月 保育参観(生活発表会)
おわかれ遠足
- 3月 おわかれお楽しみ会 卒園式
- その他 誕生会 身体測定 避難訓練
お話し会 サッカー教室
体育あそび 英語であそぼう
視力検査(3・4・5歳児)



関屋こども園

香芝市関屋396番地
(関屋八幡神社西側)
TEL: 0745-77-2717
FAX: 0745-60-9061

開設 昭和28年1月
敷地面積 1,743m²
建築面積 821m²
施設構造 鉄骨2階建て
施設定員 100名

志都美こども園

香芝市今泉382番地
(香芝市立志都美小学校南側)
TEL: 0745-77-3852
FAX: 0745-60-9024

開設 昭和28年6月
敷地面積 2,327m²
建築面積 798m²
施設構造 木造一部鉄骨平屋建て
施設定員 133名

地域子育て支援事業

在園児だけでなく、地域の人々を対象とし就学前の乳幼児の支援事業を実施しています。

子育て支援及び交流

園庭開放

育児相談

関屋 毎週金曜日10:00~11:30
志都美 毎週月曜日10:00~11:30

毎週土曜日10:00~11:30 子育て全般に関する相談窓口

施設をご利用いただける時間

1号認定の方

平日 8時30分から14時
土曜日 8時30分から11時30分
平日の一時預かり
14時から18時30分まで

2号認定の方 / 3号認定の方

平日 7時30分から18時30分
土曜日 7時30分から17時
平日の延長保育

※標準保育時間の方
18時30分から19時

※短時間認定の方
7時30分から8時30分
16時30分から18時30分

かしばし社協運営こども園のご紹介



「あそび」と「まなび」がいっぱい

関屋こども園

幼保連携型認定こども園

志都美こども園



©2019 kashibashishakyo

私たちは、保護者のみなさんの就労状況に関係なく、

地域に住む子どもたちを一体的に受け入れ、
保育や教育をおこなうことが大切であると考えています。

加えて、「保育園」と「幼稚園」の特徴をそなえた保育環境を提供することが、
子どもたちの将来のためになると考えております。

「みんなで一緒に生活することの大切さを学んでいただきたい。」

このような理念に基づき、

関屋保育園・志都美保育園は幼保連携型認定こども園となりました。



かしばし社協
<https://ka-shakyo.or.jp>

地域全体で子どもたちの「生きる力」を育む

平成20年、文部科学省は小・中学校の学習指導要領を改訂しました。

特徴的な部分に、子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念が示され、思考力・判断力・表現力や言語・理数の力などの育成を重視していることがあげられます。

この「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育と保育に取り組むことが大切とされています。

私たちは、就学前の子どもたちに「生きる力」を育むための基礎をつくり上げることに力を注ぎたいと考えており、**保護者や地域の皆様の、ますますのご協力をお願いしたい**と考えております。

基本は「自由な遊び」と「多くの学び」

就学前に「生きる力」の基礎を育むには、「自由な遊び」と「多くの学び」が大切です。

「自由な遊び」の中から、知識や技術の取得の基本となる心と身体の力が養われ、多くお友達とのふれ合いの中から表現する力や判断する力が育ちます。

「多くの学び」の中からは考える力や最後までやり抜く力が育っていきます。

また、色々なことばや自然体験をバランスよく経験していくことで、就学後に求められる「生きる力」や「科学的に考える力」の育成がなされることを目指しています。

家庭から社会へ出てゆくこどもたちの**「これから始まる大冒険を応援します！」**

子どもたちの見つめる先には何が見えているのでしょうか？



生涯の学びを見通す保育を

指示待ちではなく、主体的に考えて行動できるこどもに

情報化が進み、これからの時代はあふれるくらい情報が入り込んできます。

知識や認知は情報を使って得ることができますが、その情報を自らの力とするためには、**「どの情報の何を取り込み、どのように活用するか？」**といった力が今後必要になってきます。

その力を身につけるためには、自分で考え行動する力を育てていかなければなりません。

日々大好きな遊びを自分で見つけて没頭し、「ああ、楽しかった」という気持ちが主体性の基本となります。

そのような体験や経験をたくさんすることが、乳幼児期の学びの基本と考えております。



「生きる力」をどう育てるか

大人が教える知識ではなく、自分で会得する経験を

こども園では「**心情 意欲 態度**」を大切にします。

このような環境で育んだ「生きる力」は多くの意欲や関心につながり、自ら持った意欲や関心は粘り強く最後まで取り組む力となります。

また、豊かな成功体験は工夫や創造に繋がり、結果として本人の達成感や充実感に繋がります。

大人が知識として経験則で教えるのではなく、自らの興味・関心から導かれる**「やればできる!!」「次も頑張ろう!!」**という気持ちを大切にすることで、子どもたちの生きる力に結び付けていきたいと考えています。